



穏やかな風に包まれて
草原に深紅の色を飾るワレモコウ

8 2010
月

湯浦牧野 - 草原を彩る多様な草花たち -

草原はその利用や地形条件などによって、採草地・放牧地・湿地など、様々な草原タイプに分けられ、それぞれ景観や生息・生育する生物種も異なります。阿蘇の草原は、野焼きや草刈りなどの人の手がかかることによって、今の草原の風景が維持されているのです。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31		 ヒゴタイ 見られる時期：7～8月		 ヤシロソウ 見られる時期：8～9月

阿蘇草原再生事業⑤ - 草原環境学習（出前講座）

環境省では、地元の小中学生や修学旅行生を対象に、草原環境学習の「出前講座」を行っています。環境省のスタッフが学校や草原で、阿蘇の草原のすばらしさやそこに生息する生き物、人との関わりについて、子ども達と共に体験学習を行っています。





燦燦と照りつける太陽の下
草刈り機の音と熟練者たちの姿あり

9 2010 月

新宮牧野 - 輪地切りの風景 -

春に行う野焼きの際に周辺の山林や建物への延焼を防ぐため、牧野と森林の境などの草を草刈り機や大鎌を使って刈り取り、巾6～10mぐらいの防火帯(＝「輪地」)を作ります。急傾斜での作業は大変な重労働で、野焼き継続を難しくしている要因のひとつとなっています。

日	月	火	水	木	金	土
	 カワラナデシコ 見られる時期：7～10月		1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 敬老の日	21	22	23 秋分の日	24	25
26	27	28	29	30		 ワレモコウ 見られる時期：8～10月

阿蘇草原再生事業⑥ - 小規模樹林除去

環境省では、草原の維持管理作業として欠かすことのできない野焼きや輪地切りの作業負担を少しでも軽減するため、草原に点在する小規模な樹林の除去を行っています。樹林地を草原にかえすことで境界線が消滅し、輪地切り作業が軽減されます。

